

令和3年度 第2回狭山市文化財保護審議会 会議録

開催日時 令和4年3月22日(火)
午後2時00分から午後3時00分まで

開催場所 教育委員会室

出席者 岩本委員、権田委員、高橋(恵)委員、高橋(光)委員、中平委員、名雲委員、橋本委員

欠席者 林委員、宮瀧委員

事務局 向野教育長、金子生涯学習部長、奥富社会教育課長、安井主査、原主事

傍聴者数 0名

※審議前に、正副委員長の選出を行った。

議 題

1 令和4年度予算について

会議資料に基づき、令和4年度予算について事務局より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

委員 令和3年度実施の堀兼神社隨身門の修理について、詳細は。

事務局 昭和41年の台風時に修繕を行った^{はねぎ}桔木について、材を太くし、四隅に2本ずつ新規追加する等、軸部や小屋組みの構造の強化を行った。

委員 これから二神像を修繕していくにあたり、現在の門の環境では、虫害や風害等が懸念される。今回の隨身門の修理について、工事の報告書を後に拝見したい。

事務局 二神像の修繕にあたっては、周辺環境も含めて保全を図っていくよう指導していく。修繕の細かい内容については、別途審議を依頼する。

委員 日常管理はどのように行っているのか。

事務局 氏子により、掃除や損壊状況の確認を行っている。

委員 ほこり等でも日焼けが発生する。日常管理を徹底するよう指導願う。

委員 今宿遺跡復元住居等について、日常管理はどう行っているのか。

事務局 日常管理は地元自治会が除草等管理を行っている。建物等の専門的な内容については、文化財担当職員が状況確認等を行っている。

- 委員 展示棟を含め、メタセコイアの活用方法は他にないか。
- 事務局 メタセコイアの展示棟については、他の利用の目途が立たない場合は、古木株を移動させたいと、原則除却する予定である。
- 委員長 再整備にあたっては、近年行われた他の発掘調査での知見も踏まえ検討していただきたい。
- 委員 今宿遺跡復元住居は、昭和の復元当時、先進的な取組みであった。現在の学術的知見を踏まえたうえで、近くで見られるような施設になるといい。また、説明板等を用い、かつて「ムラ」があったことがうかがえるような展示方法も良いと思う。
- 委員 資料で紹介されている先行事例に倣って整備していくのか。
- 事務局 あくまで整備の方法の一つとして示したものである。学術的な検討と、地域住民の意見も踏まえ、整備の方針を決定していきたい。
- 委員 設計委託をする範囲や内容は特に注意して検討してもらいたい。
- 事務局 令和4年度においては、基本整備計画の策定および工事設計の実施までを行いたいと考えている。
- 委員 間違いのないように、時間をかけて行ってもらいたい。
- 委員長 狭山市唯一の復元住居であり、様々な経緯や重みがある。この点も踏まえて進めていただきたい。
- 委員長 民俗芸能の活動について、入曾囃子の現状はどうなっているか。
- 事務局 感染対策を講じて、後継者獲得のため、様々なイベント等を行っていることを確認している。
- 委員 新型コロナウイルスの影響でお祭り等がない現状で、子どもたちの興味が薄れている。学校等での発表の場がないと、後継者養成は難しい。
- 事務局 令和3年度は、文化財展により主に指定文化財の獅子舞について紹介した。多くの人の目が触れる場の創出について、今後も支援していきたい。

2 その他

- 委員長 現在、狭山市立博物館において、池原昭治先生の企画展が開催されている。機会があれば、博物館に足を運んでももらいたい。